

10月の誕生花⑩

誕生花とは生まれた日にちなんで1年365日それぞれに特定の花を割り当てたものです。誕生日には、その日を象徴する誕生花を贈ってお祝いをするなどして親しまれています。



10月3日【ミセバヤ】

花言葉 「憧れ」

庭に植えたり、盆栽で楽しんだりと古くから親しまれてきた。銀白色かかった3枚の葉が茎に輪生し、垂れ下がります。名前には、「誰に見せようか」という意味があり、皆に知らせたくなるほどに、花が優美なことを表すそうです。

10月7日【ハギ】

花言葉 「思案」

秋を代表する植物。キキョウ、ナデシコと並ぶ秋の七草として知られています。万葉集の和歌に最も詠われた草花が「ハギ」で、日本人になじみの深い花の一つです。



10月18日【キンモクセイ】

花言葉 「謙虚」

秋になるとオレンジ色の小花を開くモクセイ科の常緑樹です。甘い香りのする花は、秋の訪れを知らせてくれます。



10月31日【タマスダレ】

花言葉 「潔白」

日本へは明治初期に渡来ました。別名ゼフィランサスといい、これは、ギリシャ語の「西風」と「花」という言葉に由来しています。「ヨーロッパから見た西半球に自生する植物」であることを表しているのです。

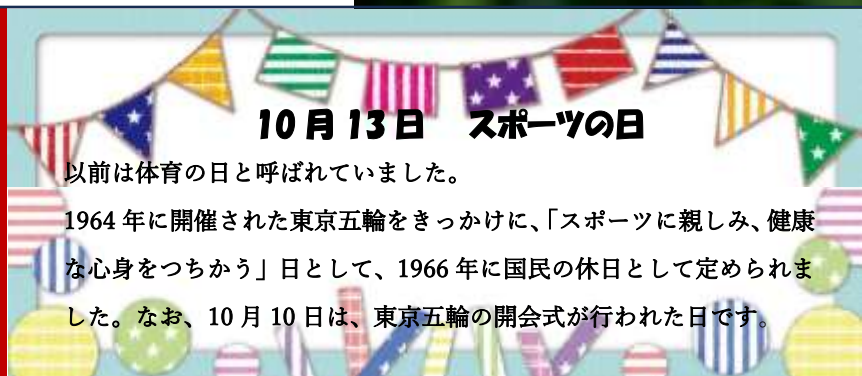


2025
10月

10月13日 スポーツの日

以前は体育の日と呼ばれていました。

1964年に開催された東京五輪をきっかけに、「スポーツに親しみ、健康な心身をつちかう」日として、1966年に国民の休日として定められました。なお、10月10日は、東京五輪の開会式が行われた日です。



植物家紋 ⑩

稲 いね

米は日本人にもっとも身近な植物のため、紋以外にも装飾や模様のモチーフとして使用されてきました。神に備える時には稲を束にすることから、紋にも束にして丸くおさめた形状が多くみられます。



抱き稲

使用苗字：長島、鈴木、
花房、岡田、川尻、中村



丸に変わり抱き稲

使用苗字：鈴木、小西



藤白稲

使用苗字：鈴木

樹木の雑学 ⑩

植物の生きる知恵！葉っぱが紅葉するのはなぜ？



強い日差しが長時間降り注ぐ夏には、植物は盛んに光合成を行いエネルギーを作ります。

しかし、秋が深まるごとに日光は徐々に弱まり、日照時間も減っていきます。夏と同じ状態を維持したくても、栄養が足りなくなってしまうのです。

そこで植物は、葉っぱに流れる栄養を遮断しエネルギーの節約を試みます。

すると、葉緑体の中にある葉緑素が壊れ、落葉します。その過程で、紅葉という神秘的な現象が起きるのです。

赤いものと黄色いものがあるのはなぜかしら…？

葉緑素はクロロフィルという色素のおかげで、緑色をしています。

それが減少すると別の色素が現れます。

この色素の交代が、葉の色を変化させているのです。

紅葉（こうよう）…赤く色づく現象。葉っぱに蓄えられた糖分がアントシアニンに変化することで赤くなる。

黄葉（おうよう）…葉緑素がなくなることで、カロテノイドという黄色い成分が目立ち、黄色く見える。

褐葉（かつよう）…葉っぱが褐色に色づく現象。これも糖分がタンニン系の物質に変化することで起きる。

黄色や橙色に変わるのでグラデーションが本当に美しい。

◆本の紹介◆

スポーツに食欲！！秋を楽しみませんか？



「約3週間のメソッドで運動会までに子どもの足を速くする」ことを目標に、親子で協力し合いながらできるトレーニングや運動方法を、写真を多数使って分かりやすく紹介。

監修：川本 和久

出版：河出書房新社



もうガマンできない!

魅惑の 106,020kcal!

人気・実力を兼ね備えた2人の料理研究家が、食欲全開で挑む美味ワールド。

「ええ!?!」と思いながらも一口食べると、もはや引き返せない極上のおいしさが待っています。

著者：枝元なほみ・多賀正子

出版：NHK 出版